

学生図書委員会 活動報告ほか

図書委員会の1年を振り返って

4C 山下 貴央

今年度図書委員長を務めました4年物質化学工学科の山下です。今回の執筆にあたって今年度の活動について報告と振り返りを書きます。

今年度も図書委員会ではブックハンティング・広報プロジェクト・雑誌入れ替えプロジェクト・メディアコンペティション・そして読書週間を行いました。ブックハンティングの報告はここで言い、他の活動報告は各プロジェクトリーダーが執筆した活動報告を見てくれたら幸いです。

今年度のブックハンティングは例年通り6月と11月に開催を予定していましたが、諸般の事情で11月開催が中止となり、年1回の開催となりました。なお、11月のブックハンティングで購入予定だった本については後日図書館の方が発注して下さったので、非常に感謝しています。今年のブックハンティングも昨年度と同様に各クラスで希望があった図書だけでなく、図書委員がオススメする本も購入しました。また、中には読書週間として展示も行いました。

図書委員長として今年度は特に『昨年度よりも各プロジェクトをより良いものにし、図書館を使う学生が「図書館を利用して良かった」といえるような作りにしよう』という信念でやってきました。実際に雑誌入れ替えプロジェクトでは、図書館を利用する方の意見を反映させました。また図書館とは関係ないですが、メディアコンペティションでは各出展団体が『出展して良かった』と言えるような作りに変え、来客者が満足できるような環境作りに変えました。さらに、図書館では今年から本の貸し出しの福袋企画（中身は秘密）を始めました。さらには、図書委員の広報の一環として公式Twitterを始めました。そして今年度の方針の集大成としてこの4月から入学する新入生の学習をサポートできるように『春の読書週間』というのを4月に新たに開催しようと思えます。これは、従来秋に行われる読書週間のように、図書委員で決めたテーマに基づいた本展示するという形でやっていますが、それに加えて、このシーズンが入学シーズンということで図書委員の経験談が詰まった学習参考書や関連本を新入生向けに紹介しようと思えます。このプロジェクトが果たして吉と出るか凶とでるか分かりません。しかし、僕が言いたいのは「何事も失敗を恐れずにやってみる」ということです。

図書委員会はこの4年間でプロジェクトの活動方針が色々変わりました。中には僕が図書副委員長を務めた2年生時に変わったものもあります。これらは全て図書館をより良いものにするための投資だと思います。来年度以降も後輩たちがこの伝統を受け継いでくれたらと思います。

色々書きたいことがありましたが、字数が多いのでこれくらいにします。プロジェクトリーダーの方、今年度お疲れ様！そして、田中君と末永君、後期に小野君の仕事の後を引き継いでくれてありがとう！そして、図書委員のみんな、今年の図書委員会を支えてくれてありがとう！

そして、最後に今年の図書委員会のサポートをしてくれた北村先生・谷様・植山様に感謝申し上げます。この執筆を終えようと思えます。

去年から雑誌プロジェクトにはかかわっていたのですが、今年度はプロジェクトリーダーをすることとなりました。今年度の雑誌プロジェクトでは、去年と同じように早い時期から準備することを心掛けました。実施時期は1月～2月ごろですが、夏休み明けから投票箱を作成し、アンケートの作成にもとりかかりました。また、10月ごろには入れ替える雑誌の候補を募るなどしてきました。

去年の経験はありましたが、余裕をもって準備を進めてきたので、実際に企画を実行する段階も順調に進めることができました。

この雑誌プロジェクトのリーダーを務めて、リーダーという役職の大変さを知ることができました。

例えば、学校行事や自分の予定、実験の予定の中からプロジェクトのメンバーが集まりやすそうな日を探したり、そのための準備を先生と協力して用意したりとしなければならないことが思ったよりも多いことに驚きました。

また、大勢で話し合っ物事の解決にあたると、より良い案が出ることも学ぶことができました。投票箱をメンバーと作る際に、自分が当初思っていた箱の作り方よりももっと良い意見をプロジェクトメンバーが出してくれたので、投票箱は自分が思っていたものよりも良いものとなりました。そのことから、大勢で意見を出し合っ物事に取り組むのは大切であると感じました。

今回の雑誌プロジェクトの活動を通して、長期のプロジェクトのスケジュール管理を体験することができ、貴重な体験をすることができました。また、プロジェクトメンバー及び先生方、図書館の職員さんにもご協力いただき、円滑にスケジュールをこなすことができました。この場を借りてお礼をも押し上げます。

図書委員会では、雑誌プロジェクトの他にも様々なプロジェクトが図書館をより良いものにしようと頑張っています。専門書から小説まで様々な本がそろっていますので、皆さんもぜひ図書館を利用してください。



読書週間プロジェクト活動報告

4S 芝脇 智将

こんにちは。今年度読書週間プロジェクトの代表をさせていただきました、電子制御工学科4年の芝脇です。読書週間プロジェクトは今年度が初任ではありますが、慣れないながら皆さんの助けもあり務めさせていただきました。

読書週間プロジェクトとは、毎年10月に図書館で行われる「読書週間」イベントとその展示に関する準備等をおこなうプロジェクトです。

読書週間では、学生が選書した本を、学生によるおすすめレビューと共に飾り付けた上で展示します。また同時にアンケートを実施して、図書館の利用状況や学生の好みなどを集計して図書委員会の今後の活動に役立てるために活用しております。

今年度は昨年に引き続きテーマを絞らない、自由選書形の読書週間とすることにしました。学生それぞれの「本当の」おすすめを選ぶために、6月のブックハンティングで1人1冊おすすめの本を購入してもらい、夏休み明けまでにそれぞれおすすめレビューを書いて送ってもらう形にしました。今年度はそれぞれ十人十色と言うに相応しい選書で、レビューも興味深いものとなっており、自由選書にして良かったと個人的には思っております。

しかしながら今年度はレビューの集計に手間取る形となり、10月に予定していた読書週間が試験を挟んだ11月にずれ込む形となってしまいました。しかし読書週間プロジェクトの皆さんの協力もあり、おすすめレビューポップや展示の飾り付けを地道に進めていくことで無事に読書週間を終えることができました。今回実施したアンケートに関しては、回答数が少なめではありましたが、今後の改善に役立てていきたいと思っております。

今年度の活動報告は以上となります。来年度以降も担当者を変えながらも読書週間は開催いたしますので、興味のある方は是非図書館に足を運んでいただけると幸いです。

図書委員会では読書週間プロジェクト以外にも雑誌入替プロジェクトなどのプロジェクトも実施しておりますので、もし興味がある方は最寄りの図書委員ないしは図書館で伺っていただけると幸いです。

